

## 事業報告書における論文数等について

再集計後の論文数等に関する記載については以下のとおりです。

○平成 25 年度事業報告書 (P. 33)

### 2. 研究開発成果の普及および成果活用の促進

#### (1) 研究開発成果の情報発信

再集計後		再集計前 (事業報告書掲載情報)	
研究開発の成果として、以下の発表を行った (各研究領域・センター合計数。論文、誌上発表は出版済みを集計。)		研究開発の成果として、以下の発表を行った (各研究領域・センター合計数。論文、誌上発表は印刷中を含む。)	
査読付論文	英文：605、和文：61、 その他言語：1 (平成 24 年度 英文：461、和 文：67)	査読付論文	英文：772、和文：100、 その他言語：1 (平成 24 年度 英文：704、和 文：115)
その他誌上発表	英文：27、和文：59 (平 成 24 年度 英文：31、 和文：56)	その他誌上発表	英文：38、和文：145 (平 成 24 年度 英文：57、 和文：134)
学会発表	国際：869、国内：1,039 (平成 24 年度 国際： 1,098、国内：1,044)	学会発表	国際：869、国内：1,039 (平成 24 年度 国際： 1,098、国内：1,044)
(論文査読付割合：約 89%)		(論文査読付割合：約 83%)	

## 事業報告書における知的財産権数等について

再集計後の知的財産権数等に関する記載については以下のとおりです。

○平成 25 年度事業報告書 (P. 35)

### 2. 研究開発成果の普及及び成果活用の促進

#### (3) 研究開発成果の権利化及び適切な管理

再集計後	再集計前 (事業報告書掲載情報)
<p>特許出願は、40 件 (54 件) の特許出願を行った。このうち外国出願は 18 件 (40 件)、民間企業との共同特許出願は 11 件 (11 件) であった ( ( ) 内は前年度実績)。その結果、知的財産権の保有数は特許 <u>178</u> 件、商標 <u>18</u> 件、プログラム著作物 <u>16</u> 件、ノウハウ <u>5</u> 件となった。</p> <p>特許の効率的な維持については、権利化の見込みが低いものや権利化後 7 年を迎えるものについて、実施の見込みがない場合や特別な事由がないものを除き、原則放棄することで効率的な維持管理を行った (権利化断念/放棄 : 17 件)。</p> <p>知的財産の活用については、平成 25 年度は 13 件の実施・利用許諾契約を締結した (特許 : 2 件、ソフトウェア : 1 件、商標/著作物 : 4 件)。知的財産収入は、<u>14, 751</u> 千円であった。そのうち一部を研究者に還元した。(年度計画 b)</p>	<p>特許出願は、40 件 (54 件) の特許出願を行った。このうち外国出願は 18 件 (40 件)、民間企業との共同特許出願は 11 件 (11 件) であった ( ( ) 内は前年度実績)。その結果、知的財産権の保有数は特許 <u>183</u> 件、商標 <u>21</u> 件、プログラム著作物 <u>17</u> 件、ノウハウ <u>3</u> 件となった。</p> <p>特許の効率的な維持については、権利化の見込みが低いものや権利化後 7 年を迎えるものについて、実施の見込みがない場合や特別な事由がないものを除き、原則放棄することで効率的な維持管理を行った (権利化断念/放棄 : 17 件)。</p> <p>知的財産の活用については、平成 25 年度は 13 件の実施・利用許諾契約を締結した (特許 : 2 件、ソフトウェア : 1 件、商標/著作物 : 4 件)。知的財産収入は、<u>14, 516</u> 千円であった。そのうち一部を研究者に還元した。(年度計画 b)</p>

以上